

平成25年度 目的・目標・実施計画取組結果

作成日	平成26年8月7日
最終改定日	平成25年4月1日

項目	目的	年度目標			H25年度結果	環境マネジメントプログラム								
		24年度	25年度	26年度		実施項目(手段)	日程	実行部門	推進者					
省資源省エネ	電気使用量をH26年度までに7%削減する(H22年度比)	H22年度比 5%削減(努力目標)	H22年度比 6%削減(努力目標)	H22年度比 7%削減(努力目標)	H25年度使用量:1,524,278kwh H22年度使用量:1,688,350kwh 目標値:1,587,049kwh 目標達成度:104.0%	空調設備の使用管理を徹底する	6月～9月、12月～3月	全部署	全部署推進員					
						会議室等の使用時、冷暖房の温度を適切に調整管理する	6月～9月、12月～3月	全部署	全部署推進員					
						昼休みは本庁の窓口・共通部分以外の消灯を徹底する	通年	全部署	全部署推進員					
						パソコン、コピー機等の事務機器の不使用时に電源をこまめに切る	通年	全部署	全部署推進員					
						ノーマル作業を推進する(毎週水曜日)	通年	全部署	全部署推進員					
						省エネルギー対応機器への交換を促進する	更新時	全部署	全部署推進員					
省資源・省エネ、排ガス削減	公用自動車のガソリン使用量を平成26年度までに8%削減する(H22年度比)	ガソリン使用量をH22年度比8%削減する	ガソリン使用量をH22年度比8%削減する	ガソリン使用量をH22年度比8%削減する	H25年度使用量:38,330.1ℓ H22年度使用量:35,785.5ℓ 目標値:32,922.7ℓ 目標達成度:83.6%	同一方向の相互利用	通年	全部署	全部署推進員					
						不要なアイドリング、空ぶかし、急加速、急発進をしない	通年	全部署	全部署推進員					
						急ブレーキをかけるような運転をしない	通年	全部署	全部署推進員					
	公用自動車の軽油使用量を平成26年度までに3%削減する(H22年度比)	H22年度比 1%削減(努力目標)	H22年度比 2%削減(努力目標)	H22年度比 3%削減(努力目標)	H25年度使用量:15,075.9ℓ H22年度使用量:13,234.1ℓ 目標値:12,959.4ℓ 目標達成度:83.8%	無駄な荷物を積まない	通年	全部署	全部署推進員					
						適切な点検整備を行う	通年	全部署	全部署推進員					
						法定速度内で経済速度(一般道路40～60km/h、高速道路80km/h)走行を心掛ける	通年	全部署	全部署推進員					
通勤時による排ガス(CO2)排出削減	CO2排出削減(努力目標)				ノーマイカー運動による削減距離:145km CO2排出削減量:27.1kg ノルテ運動(ノーマイカー運動)実施11人 参加削減距離:427km H25.10.1～若桜鉄道乗車定期使用者6人	通勤に自転車、乗合、公共交通機関を利用する	通年	全部署	全部署推進員					
省資源省エネ	灯油の使用量を平成26年度までに3%削減する(H22年度比)	H22年度比 1%削減(努力目標)	H22年度比 2%削減(努力目標)	H22年度比 3%削減(努力目標)	H25年度使用量:44,545ℓ H22年度使用量:42,795ℓ 目標値:41,939.1ℓ 目標達成度:93.8%	ストーブ等の使用をできるだけ控える	12月～3月	全部署	全部署推進員					
						A重油使用量をH26年度までに3%削減する(H22年度比)	H22年度比 1%削減	H22年度比 2%削減	H22年度比 3%削減	H25年度使用量:16,367.0ℓ H22年度使用量:42,603.0ℓ 目標値:41,750.9ℓ 目標達成度:160.8% ※給食センターのオール電化導入による使用量減。	手順書に基づくボイラー等の使用管理の徹底	通年 6月～9月、12月～4月	中央公民館 船岡保育所	該部署推進員
						LPガス使用量をH26年度までに3%削減する(H22年度比)	H22年度比 1%削減(努力目標)	H22年度比 2%削減(努力目標)	H22年度比 3%削減(努力目標)	H25年度使用量:5,095.9m <sup>3</sup> H22年度使用量:11,416.6m <sup>3</sup> 目標値:11,188.3m <sup>3</sup> 目標達成度:154.5% ※給食センターのオール電化導入による使用量減。	給湯器、ガスコンロの使用管理を徹底する	通年	全部署	全部署推進員
省資源	毎年の水道使用量を平成26年度までに5.0%削減する(H22年度比)	H22年度比 4.0%削減(努力目標)	H22年度比 4.5%削減(努力目標)	H22年度比 5.0%削減(努力目標)	H25年度使用量:24,698m <sup>3</sup> H22年度使用量:38,734m <sup>3</sup> 目標値:36,991m <sup>3</sup> 目標達成度:133.2%	必要な量の使用を徹底し、節水を促進する	通年	全部署	全部署推進員					
						トイレ用洗浄装置の使用を徹底し、節水を促進する	通年	全部署	全部署推進員					
	紙使用量をH26年度までに2.0%削減する(H22年度比)	H22年度比 2.0%削減	H22年度比 2.0%削減	H22年度比 2.0%削減	H25年度使用量:2,182,477枚 H22年度使用量:2,630,783枚 目標値:2,578,167.3枚 目標達成度:115.3%	両面コピーを徹底する	通年	全部署	全部署推進員					
						会議、配付資料の必要部数の最少化を推進する	通年	全部署	全部署推進員					
						リサイクル封筒の使用を推進する	通年	全部署	全部署推進員					
						資料の個別所有を制限し、担当内での共有化を推進する	通年	全部署	全部署推進員					
						ミスコピー等の裏面再利用、メモ用紙への再利用を促進する	通年	全部署	全部署推進員					
						ファイルの再利用を推進する	通年	全部署	全部署推進員					
可燃物の排出量削減	可燃物の排出量を平成26年度まで同量に抑制する(H22年度比)	H22年度比同量に抑制する	H22年度比同量に抑制する	H22年度比同量に抑制する	H25年度排出量:44,217.4kg H22年度使用量:40,261.9kg 目標値:40,261.9kg 目標達成度:91.0%	廃棄物処理運用手順書に基づき、リサイクルを徹底し可燃物の排出量を削減する	通年	全部署	全部署推進員					

項目	目的	年度目標			H25年度結果	環境マネジメントプログラム				
		24年度	25年度	26年度		実施項目(手段)	日程	実行部門	推進者	
環境保全項目	グリーン購入の推進	グリーン購入の推進・普及を図る	指定物品については原則グリーン購入を行なう			町全体 99.6%	調達方針の定めにより推進を図る	通年	全部署	全部署推進員
	廃棄物の削減	資源ごみの分別を徹底し、リサイクルを推進する	廃棄物処理運用手順書に基づく取組みの徹底や見直しを行い、さらに推進する。			廃棄物処理運用手順書に基づく取組みを行うことができた。	ビン類、カン、プラスチック、ペットボトル、トレイ、ペットボトルキャップに分別して排出	通年	全部署	全部署推進員
			古紙類、シュレッダー屑、段ボール等を分別して排出				通年	全部署	全部署推進員	
		ごみ分別の啓発	環境美化推進委員会、区長会で分別の啓発を行なう(各地区1回/年)			区長会:2回(全域対象) 環境美化推進委員会:1回(全域対象) エコレンジャー上流:6回 広報紙への記事掲載によりごみ分別の啓発を行った。(インクカートリッジ4月号、生ごみ分別11月号、カセットボンベ2月号、ストーブ3月号)	環境美化推進委員会の開催時と、区長会開催時に分別の啓発を行なう	随時	福祉環境課	該部署推進員
			ホームページによる啓発			ホームページにごみの分別に関する内容を掲載している。	ホームページのリニューアル、随時更新による啓発	随時	福祉環境課	該部署推進員
			ごみ分別説明会の開催 年間5回程度開催			ミックスペーパー 説明会 3回	各集落、事業所でのごみ分別説明会を開催する	随時	福祉環境課	該部署推進員
		コンポストの設置促進	コンポスト設置補助 10基/年	コンポスト設置補助 10基/年	コンポスト設置補助 10基/年	設置補助 15基分	コンポスト設置家庭へ助成を行い、ごみの減量化を促進する(助成:福祉環境課)	通年	福祉環境課	該部署推進員
		汚泥の減容化	目標減容量150㎡	目標減容量153㎡	目標減容量155㎡	年間管理 0㎡	発生汚泥量の抑制(日田農業集落排水処理施設)	通年	上下水道課	該部署推進員
	昼食時に職員に「マイお箸」の使用推進(廃棄物削減&環境保全)	昼食時に職員に「マイお箸」の使用を推進する(割りばしを使用しない)			弁当業者に割りばしを置かないよう指示し、マイお箸や使い回し用箸を使用した。	弁当注文時に弁当業者に取組について説明し、割りばしは置かないよう指示、職員にはマイお箸持参を啓発する(使いまわし用箸の常備)	通年	総務課	該部署推進員	
	生ゴミ資源循環促進	生ゴミ分別回収促進	生ゴミの分別回収、液肥化リサイクル 5集落/年程度追加			生ゴミ:開始6集落(説明会6回)	モデル集落による液肥化リサイクル推進	通年	福祉環境課	該部署推進員
			液肥の利用説明会の開催 5回/年程度			液肥:モデル実施3集落(説明会6回)	液肥リサイクルについて集落へ啓発	通年	福祉環境課	該部署推進員
	資源再利用の促進	資源再利用の促進	教材としての廃材を再利用しての保育			牛乳パックやペットボトル、トレットペーパーの芯、新聞紙などの廃材を教材として利用した保育を行った。	牛乳パック、ペットボトルの教材への利用促進	通年	各保育所	該部署推進員
			資源回収			キャップ、廃油、7&2缶の回収を行った。	牛乳パック・キャップ・廃油の回収	通年	各保育所	該部署推進員
						事業で排出された油を回収し、資源再利用に努めている。	廃油の回収	通年	中央人権啓発センター	該部署推進員
			使用率 45%	使用率 45%	使用率 45%	第1/四半期 45% 第2/四半期 41% 第3/四半期 47% 第4/四半期 51%	廃油を活用したバイオディーゼルを給食車の燃料として使用	通年	学校給食共同調理場	該部署推進員
相互貸借書籍の封筒リサイクル(相互貸借の90%以上)			90%以上達成できた。	相互貸借書籍の使用済み封筒リサイクル	通年	郡家図書館	該部署推進員			
資源回収事業の推進	資源回収事業の奨励	参加10団体	参加10団体	参加10団体	町全体 48件 855,939円	資源回収団体に報奨金を交付し、資源回収を奨励	通年	福祉環境課 船岡住民課・八東住民課	該部署推進員	
	古紙回収の実施	家庭の古紙を回収する(1回/2ヶ月)			ミックスペーパー 1回/2月 回収	町内の家庭から排出される古紙を回収する	1回/2ヶ月	福祉環境課	該部署推進員	
集落沿線等の清掃活動	集落沿線等の清掃活動	年1回実施(毎年8月実施:クリーンクリーン作戦)			8/4町内一斉清掃活動 郡家地域クリーンクリーン作戦 船岡地域クリーンクリーン大作戦 八東地域ひまわり清掃	全集落参加による一斉清掃(船岡地域)	年1回	建設課	該部署推進員	
適正困難廃棄物の回収困難廃棄物の回収	各家庭で発生する産業廃棄物等の処理困難廃棄物を回収する	1回/年	1回/年	1回/年	11/17 町内4カ所で開催 農プラ 11.5㎡ ガラスくず 0.5㎡ 鉄くず 1.3㎡ 紙くず 0.1㎡ がれき 0.1㎡ 計 13.5㎡	回収業者に委託し、処理困難廃棄物を回収する(有償)	1回/年	福祉環境課	該部署推進員	
ごみ不法投棄対策	ごみ不法投棄対策の推進	ごみ不法投棄を監視し、防止の啓発を行う			環境監視員によるパトロールの実施 2回/月 2人1組体制	環境パトロール隊によるパトロール実施 3回/週程度 or 1回/週程度	通年	福祉環境課	該部署推進員	
					広報紙への記事掲載(10月号)	町防炎無線、広報誌等による啓発 1回/月程度または随時	随時	福祉環境課	該部署推進員	
下水道整備	公共下水道の接続率を推進する	接続率 86%	接続率 91.8%	接続率 92.0%	90.70%	公共下水道整備への接続の促進を図るとともに適切な維持管理に努める	通年	上下水道課	該部署推進員	
	農業集落排水の接続率を推進する	接続率 87.9%	接続率 91.5%	接続率 91.7%	91.60%	農業集落排水への接続の促進を図るとともに適切な維持管理に努める	通年	上下水道課	該部署推進員	
	合併浄化槽の接続率を推進する	接続率 90.0%	接続率 90.5%	接続率 91.0%	78%	合併浄化槽の整備促進を図るとともに適切な維持管理に努める	通年	上下水道課	該部署推進員	
	単独浄化槽の管理指導を行う	単独浄化槽158基に対し、適正な管理指導を行う。下水道への接続を推進する。	単独浄化槽161基に対し、適正な管理指導を行う。下水道への接続を推進する。	単独浄化槽154基に対し、適正な管理指導を行う。下水道への接続を推進する。	広報紙(10月号)へ記事掲載、区長会での適正な管理の周知を行った。	単独浄化槽158基に対し、適正な管理指導を行う。下水道への接続を推進する。	通年	上下水道課	該部署推進員	
簡易水道整備	簡易水道の接続率の推進、適切な維持管理に努める	接続率 98.9%	接続率 98.82%	接続率 98.95%	98.90%	簡易水道への接続促進を図るとともに適切な維持管理に努める	通年	上下水道課	該部署推進員	
太陽光発電システム設置推進	太陽光発電システムの普及を図り、家庭における地球温暖化対策を推進する	20世帯設置助成	20世帯設置助成	20世帯設置助成	補助申請22件中、完了による精算支払 22件 6,503,250円 110%	家庭での太陽光発電システム設置について、1家庭4kwのシステム構築助成を行う(国、県と連携する)	通年	企画課	該部署推進員	

項目	目的	年度目標			H25年度結果	環境マネジメントプログラム				
		24年度	25年度	26年度		実施項目(手段)	日程	実行部門	推進者	
森林整備の推進	間伐事業により健全な森林の整備を推進する	新規 200ha (※国・県の補助制度を活用した予算での目標値)	新規 220ha (※国・県の補助制度を活用した予算での目標値)	新規 220ha (※国・県の補助制度を活用した予算での目標値)	211.52ha	各種補助制度を活用し間伐を推進する。	通年	産業観光課	該当部署推進員	
森林整備の推進	森林整備のための作業道開設を推進する	新規 20,000m (※国・県の補助制度を活用した予算での目標値)	新規 20,000m (※国・県の補助制度を活用した予算での目標値)	新規 20,000m (※国・県の補助制度を活用した予算での目標値)	55,018m	森林整備のための作業道開設を推進する。	通年	産業観光課	該当部署推進員	
公園緑地緑化推進	緑化事業の啓蒙普及	緑化事業の啓蒙普及を図る			募金を実施(実績919,570円) 苗木の無料配布(231,745円) クサギ749本 コナラ367本 栗496本 柘299本 一株植樹789本(274,250円)	緑の羽根共同募金の実施 一株植樹の奨励	4月～5月 3月	産業観光課	該当部署推進員	
休耕田の荒廃防止	ホンモロコの養殖で、休耕田の荒廃を解消する	全地域 2a	全地域 3a	全地域 4a	町報等で広報したが、実績なし。	休耕田をホンモロコ養殖池に整備し、休耕田の荒廃を解消する (H26までに9a)	随時	産業観光課	該当部署推進員	
農地の保全	遊休農地の解消	耕作放棄地面積(全体) 24.5ha 3ha	耕作放棄地面積(全体) 24.5ha 3ha	耕作放棄地面積(全体) 24.5ha 3ha	利用権設定 100% 耕作放棄地調査終了、現在データ突合中(今後の指導につながるため)	利用調整活動を(放牧、景観作物の作付け、飼料稲の作付け等)推進し解消に努める (H26までに9ha)	通年	農業委員会事務局	該当部署推進員	
無断農地転用の防止	農地の無断転用を防止する	農地の無断転用を防止する(5件以内)	農地の無断転用を防止する(5件以内)	農地の無断転用を防止する(5件以内)	無断農地転用件数:0件	パトロール、パンフレットの配布聞き取り調査により農地の無断転用を防止する 休耕地の場合、県と連携し指導し、現地作業も推進する	通年	農業委員会事務局	該当部署推進員	
地産地消の推進	町内産・県内産の食材の積極的利用	町内産、県内産の食材を積極的に利用し、地産地消を推進する 各保育所70%			中私都保育所100%、下私都保育所71.9%、たから育所69.8%、郡家保育所66.5%、国中保育所72.7%、大御門保育所62.6%、船岡保育所65.4%、牟婁保育所66.4%、丹比保育所61.8%、安部保育所60.8%、八東保育所63.5%、大江保育所は月2回の会食に園栽培野菜も使用	各保育所の給食に町内産・県内産の食材を優先的、積極的に取り入れる	通年	各保育所 (大江保育所を除く)	該当部署推進員	
		給食センター 地元産…40% 県内産…30% 国内産…25% 外国産… 5%	給食センター 地元産…41% 県内産…30% 国内産…25% 外国産… 4%	給食センター 地元産…41% 県内産…31% 国内産…24% 外国産… 4%	給食センター 地元産…58% 県内産…21% 国内産…21% 外国産…0%	学校給食に町内産の食材を積極的に取り入れる	通年	学校給食共同調理場	該当部署推進員	
環境保全意識の啓発	環境保全意識の啓発	エコクラブ新登録2クラブ/年	エコクラブ新登録2クラブ/年	エコクラブ新登録2クラブ/年	新規登録 1団体	こどもエコクラブ活動推進(支援補助金活用)	通年	福祉環境課	該当部署推進員	
		ノーズ袋デーを設定、マイバック運動を展開				買い物に、マイバック持参を町報に毎月掲載した。	ノーズ袋、マイバック運動の推進、サポート(小売業者への啓発、県協議会との協力)	通年	福祉環境課	該当部署推進員
		図書館利用者の50%以上	図書館利用者の52%以上	図書館利用者の55%以上	50%以上達成できた。	図書館利用者に、マイバック持参を啓発する	通年	郡家図書館	該当部署推進員	
		議員に対して環境関連研修1回/年	議員に対して環境関連研修1回/年	議員に対して環境関連研修1回/年	H25.10.31開催の八頭町EMS研修会に、議員2名参加	環境関連研修を議員研修の一環として実施する	随時	議会事務局	該当部署推進員	
		保護者に対しての環境保全啓発、協力依頼				保護者に対しては「アイドリングストップ」や「ライトダウン運動、会合等の乗り合わせや徒歩・自転車による来所を呼び掛けた。	保護者に対しての環境保全啓発(アイドリングストップ、ライトダウン呼び)	随時	各保育所	該当部署推進員
		野菜作りを通した環境保全教育の実施				保育所の菜園での野菜作り、ゴーヤのグリーンカーテン等に取り組み、園児に環境保全教育を行った。	保育所での菜園活動(野菜作り)による環境保全教育	通年	各保育所	該当部署推進員
		清掃活動を通した環境保全教育の実施				ゴミの分別や、環境に関する紙芝居、絵本、散歩時のクイズ活動、節電や節水に関する話などの取り組みを保育の中で行った。	各保育所でのクリーン・クリーン活動の推進、園児に対するごみの分別、節水指導を行なう	随時	各保育所	該当部署推進員
		職員の環境保全意識の高揚と町民への啓発				全職員がカードを携帯し、訪問時等に啓発活動を行った。	職員各自が環境保全の取組み目標を記入したカードを携帯し、訪問時等に町民に対して啓発活動を行う	随時	地域包括支援センター	該当部署推進員
		センター登録団体及び施設利用者へ環境方針を周知し環境配慮を推進	センター登録団体及び施設利用者へ環境方針を周知し環境配慮を推進			施設の節電を徹底し、センター登録団体などの施設利用団体に節電の取組に協力していただいている。「クールビズ」「ウォームビズ」など、施設内に張り紙をし、啓発した。	センター登録団体及び施設利用者へ環境方針を周知し環境配慮を推進する	随時	男女共同参画センター	該当部署推進員
		校長会を通して、学校での環境保全啓発と環境教育の実施依頼	校長会を通して、学校での環境保全啓発と環境教育の実施依頼			学校長を通して、学校での環境保全啓発と環境教育の実施を依頼し、全校実施した。	校長会を通し、町内の学校における環境保全啓発、環境教育の推進を図る	通年	学校教育課	該当部署推進員
公共事業の環境配慮	設計金額500万円以上の工事について手順書により環境配慮を行なう	公共工事環境配慮チェックシートによる環境配慮を行う			H25.10.21・22実施の公共工事環境配慮チェックシートは、本来の業務の記録があり二重になっているとの指摘があり、EMS推進委員会(H25.10.31)において、H25.11.1からチェックシートを廃止した。公共工事の環境配慮は実施している。	環境に配慮した設計及び施工方法の確認 建設副産物、建設発生土及び建設廃棄物の取扱いの確認 その他環境に配慮した事項の確認	設計時 設計及び事業完了時 設計時	該当部署 該当部署 該当部署	該当部署推進員 該当部署推進員 該当部署推進員	
イベント・行事等における環境配慮	町の行イベント・行事等について環境配慮を行なう	手順書により推進する			物品等の管理手順書に基づく取組を行った。 廃棄物処理運用手順書に基づく取組を行った。 イベント環境配慮手順書、公用自動車使用手順書、省エネ・省資源運用手順書に基づく取組を行った。	環境負荷の少ない物品の使用 廃棄物の発生の抑制、ゴミの持ち帰り、分別徹底及びリサイクル マイクロ送迎、自転車、乗り合わせ、公共交通機関の利用促進	イベント・行事開催時	該当部署	該当部署推進員	

項目	目的	年度目標			H25年度結果	環境マネジメントプログラム			
		24年度	25年度	26年度		実施項目(手段)	日程	実行部門	推進者
クールビズ・ウォームビズの推進	夏期においてクールビズ、冬期においてウォームビズを職員に推進し、冷暖房の使用を控える	夏期においてクールビズ・ノージャケット、冬期においてウォームビズを職員に推進する(夏期…ノーネクタイ、ノージャケット、冬期…上着、ひざ掛けなどの着用)			課長会等を通じて全職員にクールビズ・ウォームビズの取組を周知し、チラシを掲示して来庁者にも理解・協力を求めた。	課長会を通じ全職員に周知推進、来庁者にも理解・協力を求め、冷暖房の使用を極力控える	夏期(6～9月) 冬期(12月～3月)	総務課	該当部署推進員
土地データの電子化	土地データの電子化の推進	調査必要面積182.56km <sup>2</sup> に対し、調査済(中)面積60.98km <sup>2</sup> (33.40%) H24年度着手面積5.60km <sup>2</sup>	調査必要面積182.56km <sup>2</sup> に対し、調査済(中)面積66.58km <sup>2</sup> (36.47%) H25年度着手面積5.09km <sup>2</sup>	調査必要面積182.56km <sup>2</sup> に対し、調査済(中)面積71.67km <sup>2</sup> (39.26%) H26年度着手面積5.42km <sup>2</sup>	達成率100%(6.09Km <sup>2</sup> 1.058筆)	地籍調査、ほ場整備完了地区の土地データの数値情報化を行う	通年	地籍調査課	該当部署推進員
口座振替の推進	町税の口座振替を推進する	累計1,000人	累計1,100人	累計1,200人	軽自動車税:3,469/10,759件 32.24% 固定資産税:4,366/9,067件 48.15% 町県民税:897/2,904件 30.89% 国民健康保険税:1,065/2,404件 44.30% 介護保険料:169/357 47.34% 後期高齢者保険料338/501 67.47%	住民が納付する町税について口座振替を推進する(集約・税務課)	通年	税務課 船岡住民課・八東住民課	該当部署推進員
電子申告の推進	インターネットによる確定申告を推進する	H23 電子申告(e-TAX)実績 654件/3985件 16.4% 広報やず 3回掲載	H23 電子申告(e-TAX)実績 654件/3985件 16.4% 広報やず 4回掲載	H23 電子申告(e-TAX)実績 654件/3985件 16.4% 広報やず 5回掲載	電子申告(e-TAX)実績 722/3,523件 20.5% 広報やず 3回掲載、ホームページ掲載	インターネットによる確定申告の推進をする(広報・税務課)	12月広報	税務課 船岡住民課・八東住民課	該当部署推進員
町民への環境情報の提供、環境保全の普及啓発	町民への環境情報の提供、環境保全の普及啓発	環境に関する教室・講座を実施する			中央公民館 1回(7/6エコカキウ) 船岡地域公民館祭エ作品展 10/26～10/27 各地区公民館(八東)5/29子どもの草木染め(丹比)6/22用し飾り作り(安部)6/29ネクタイのリメイク(郡家西)2/11リサイクル品手作り	環境講座、環境教室を実施する	通年	中央公民館	該当部署推進員
		各種教室、各種相談事業における環境配慮、啓発を行なう			ゴミの持ち帰りの協力を依頼した。(貼り紙の実施)参加者への呼びかけた。100%	各種教室、各種相談事業で環境への取組等を啓発、環境配慮を推進する	通年	中央公民館 中央公民館	該当部署推進員
		省資源・省エネルギー、廃棄物削減の啓発を実施する			施設内にチラシを掲示し、啓発を行い、町民に環境保全を呼び掛けた。	施設内において掲示、啓発を行い町民に環境保全を呼びかける	通年	中央公民館	該当部署推進員
		公共施設の清掃活動 1回/年*2クラブ	公共施設の清掃活動 1回/年*2クラブ	公共施設の清掃活動 1回/年*2クラブ	鳥取砂丘一斉清掃、他イベントと重なったため参加しなかった。 町内公共施設清掃は、8/4実施(船岡地区公民館周辺)	ジュニアリーダークラブの養成と環境活動(シュール:八東中学校、たけのこクラブ:船岡中学校)	通年	社会教育課	該当部署推進員
		3館で1冊/月	3館で1冊/月	3館で1冊/月	4冊購入	環境保全に関する図書を住民に供給する 環境保全に関する図書の定期購入	通年	郡家図書館	該当部署推進員
		広報誌(町報)による環境情報の提供 年間10回	広報誌(町報)による環境情報の提供 年間10回	広報誌(町報)による環境情報の提供 年間10回	11回掲載	広報誌(町報)で住民に町の取り組みや環境情報を提供し、環境保全等の呼びかけをする	年10回	企画課	該当部署推進員
議会だよりによる環境保全情報の周知・啓発(4回/年発行)	議会だよりによる環境保全情報の周知・啓発(4回/年発行)	議会だよりによる環境保全情報の周知・啓発(4回/年発行)	議会だよりによる環境関連情報コーナーを常設し、年4回掲載を行った。	議会だよりに啓発等の関連スペースを常設する(全項に標語等)	通年	議会事務局	該当部署推進員		
町立学校の環境管理システム	環境管理システムの構築	環境管理システムの構築	環境管理システムの運用	環境管理システムの運用	TEASⅢ種 取得校 2校 更に1校取得準備を推進した。	町内の学校において、環境管理システムを構築、運用し鳥取県版環境管理システムの認証を取得する	通年	学校教育課	該当部署推進員
食中毒、感染症等の防止	食中毒、感染症防止	実習室での食中毒の発生を予防する			参加者、世話人等へ衛生管理の徹底を図り、手洗いの励行、タオルふきん等の衛生管理を徹底した。	うがい、手洗い、消毒等の指導を徹底する	通年	中央公民館 保健課	該当部署推進員
		食中毒予防マニュアルに基づく取組を徹底する			食中毒を防止するため、日常点検・個人票で各自の健康状態を毎朝ミーティング時(205回)に確認し衛生管理マニュアルの徹底を図った。	食中毒予防マニュアルに基づく取組を徹底する	通年	学校給食共同調理場 各保育所	該当部署推進員
		食中毒注意報を防災無線で放送する			食中毒注意報を随時放送した。	食中毒注意報を防災無線で放送し、町民への周知を行う	通年	保健課	該当部署推進員
		感染症対策マニュアルに基づく対応を徹底する			町対応事案なし。	感染症の対策マニュアルに基づいた対応を徹底する	通年	保健課	該当部署推進員
		感染症防止に努める			うがい、手洗い、消毒等の指導を徹底した。	うがい、手洗い、消毒等の指導を徹底する	通年	各保育所	該当部署推進員
検診事業	検診等の環境配慮を行なう	検診等の環境配慮を行なう			PC導入による業務の効率化を図った。検診車(胃がん)の台数を増やし、時間短縮を図った。受信者へチラシを配布し、健康意識の向上を図った。29会場	PC導入による業務の効率化、時間短縮、チラシ配布による健康啓発に努める	通年	保健課	該当部署推進員
検診受診率の向上	健診、がん検診の受診率を向上させ、病気の早期発見、早期治療に努め、医療費を抑制する	※胃がん検診 28.8%	※胃がん検診 29.3%	※胃がん検診 29.8%	※胃がん検診 32.9% 1,883人	検診時の待ち時間の短縮、効率化、農繁期等を避けた適切な検診日程の設定、区長会、健康づくり推進員を利用した受診必要性の啓発、休日検診の設定、個別検診の推進等により検診率向上を図る	通年	保健課	該当部署推進員
		※肺がん検診 47.6%	※肺がん検診 48.1%	※肺がん検診 48.6%	※肺がん検診 43.8% 2,855人				
		※子宮がん検診 28.5%	※子宮がん検診 29.0%	※子宮がん検診 29.5%	※子宮がん検診 29.6% 1,197人				
		※乳がん検診 22.8%	※乳がん検診 23.3%	※乳がん検診 23.8%	※乳がん検診 22.6% 1,380人				
		※大腸がん検診 43.8%	※大腸がん検診 44.3%	※大腸がん検診 44.8%	※大腸がん検診 42.6% 2,578人				
	職員全員に健康診断(市町村職員共済組合人間ドック含む)を受診させ、病気の早期発見やメタボリック対象者を減らし、事業者としての責務を果たし、職員の健康維持に努める	全職員の100%受診	全職員の100%受診	全職員の100%受診	233/252人 達成率:92%/年	職場検診と共済人間ドック事業とを活用する。人間ドック受診枠の拡大、人間ドックキャンセル枠の有効利用、特定保健指導の推進等	通年	総務課	該当部署推進員
介護予防の推進	要介護状態の予防に努める	要介護認定者割合:H22(18.56%)と同率に抑制			21.27%	各種相談、教室等の実施により、要介護状態の予防のための指導を行う	通年	地域包括支援センター	該当部署推進員

項目	目的	年度目標			H25年度結果	環境マネジメントプログラム				
		24年度	25年度	26年度		実施項目(手段)	日程	実行部門	推進者	
環境 保 全 項 目	園庭の芝生化	園庭の芝生化により、地表温度の抑制を図る	園庭の芝生化による地表温度の抑制			八頭町シルバー人材センターに芝生の管理を委託し、継続して地表温度の抑制に取り組んでいる。	園庭を芝生化し適切に管理することにより、遊戯中の児童の安全を確保するとともに、地表温度の上昇を抑えることで、空調設備の使用を控える	通年	郡家保育所 丹比保育所	該部署推進員
	火災予防、火災への対応	火災発生の予防を推進するとともに、火災発生時には迅速な対応を行い、町民の生命や財産の保護に努める	巡回広報 年4回 広報紙への記事掲載 年2回 ホームページへの掲載	巡回広報 年4回 広報紙への記事掲載 年2回 ホームページへの掲載	巡回広報 年4回 広報紙への記事掲載 年2回 ホームページへの掲載	巡回広報: 益前1回、秋3回、年末3回 広報8月号・防火ハレド掲載 2回 防災無線広報実施(春、年末) 八東地域で消防演習の実施	消防車等による巡回広報や広報紙・ホームページへの記事掲載を行い、火災の予防を推進する	通年	総務課	該部署推進員
	LED防犯灯の設置	防犯灯にLED照明を導入し、電気使用量や蛍光灯の交換回数の削減を図る	新規設置及び既存器具取替時に、LED照明を導入する。(新規5基予定)	新規設置及び既存器具取替時に、LED照明を導入する。(新規5基予定)	新規設置及び既存器具取替時に、LED照明を導入する。(新規5基予定)	LED防犯灯 電柱共架分: 12基 ポール設置分: 8基 蛍光灯→LED交換: 59基	防犯灯について、LED照明を使用したものを導入し、電気の使用量や蛍光灯の交換回数を削減する	通年	総務課	該部署推進員
	竹チップ・竹パウダーの推進	竹林整備事業等の竹林間伐により発生する竹材の有効活用を図るため、竹チップ・竹パウダーの製造の推進を行う	広報紙への記事掲載、ホームページへの掲載			2集落で、竹チップ 200㎡製造し、果樹園・畑の肥料として使用	竹林整備事業等の竹林間伐により発生する竹材を有効活用し、農業用肥料やパルプ原料として活用可能な竹チップ・竹パウダーの製造の周知・啓発活動を行う	通年	産業観光課	該部署推進員
	鳥インフルエンザ対策	鳥インフルエンザ発生時の対応を的確に行い、被害を最小限にとどめる。	対応マニュアルに基づく対応を徹底する			発生事案なし	鳥インフルエンザ発生時における対応マニュアルに基づく対応を徹底し、迅速な対応を行う	通年	産業観光課	該部署推進員
	口蹄疫対策	口蹄疫発生時の対応を的確に行い、被害を最小限にとどめる。	対応マニュアルに基づく対応を徹底する			発生事案なし	口蹄疫発生時における対応マニュアルに基づく対応を徹底し、迅速な対応を行う	通年	産業観光課	該部署推進員
	コイヘルベス対策	コイヘルベス発生時の対応を的確に行い、被害を最小限にとどめる。	対応マニュアルに基づく対応を徹底する			発生事案なし	コイヘルベス発生時における対応マニュアルに基づく対応を徹底し、迅速な対応を行う	通年	産業観光課	該部署推進員
	有害鳥獣(クマ)対策	クマの出没時及び捕獲時の対応を的確に行い、野生動物の保護を図るとともに、地域住民への被害を最小限にとどめる。	対応マニュアルに基づく対応を徹底する			錯誤捕獲: 11件、有害: 4件	クマ出没時及び捕獲時における対応マニュアルに基づく対応を徹底し、迅速な対応を行う	通年	産業観光課	該部署推進員
	急速充電器の設置(電気自動車用)	電気自動車(一般向)用の急速充電器を整備することにより、Co2排出量を削減する。	急速充電器 1基 (本庁舎駐車場)	急速充電器 1基 (八東みらの駅)	—	設置箇所の許可を待っている状態。 協議終了後は速やかに設置予定。	Co2排出量の少ない電気自動車の利用を促進するため、電気自動車用の急速充電器を設置する。	通年	総務課	該部署推進員